



世界を知る ～It know the world～

このページでは、「世界を知る」をテーマに独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本や、国際交流・協力分野で活躍している皆様のご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

はじめまして！ JICAデスクです！

国際協力推進員 阿南 栄子さん

(H20年9月～H22年9月 青年海外協力隊 ニジェール派遣 職種：感染症対策)

はじめまして、昨年12月よりJICAデスク熊本の国際協力推進員として着任しました阿南栄子です。熊本市に生まれ育ち、大学卒業後、病院勤務を得て2008年に青年海外協力隊へ参加、寄生虫症の感染症対策隊員としてアフリカのニジェールに2年間派遣されました。

ニジェールは元フランス植民地で共通語はフランス語、イスラム教圏で国土の3分の1がサハラ



《学校での啓発活動の様子》

ら砂漠といった国。私が住んでいた町は特に熱く(気温40～60度)、日中は歩くだけで体力を消耗し、夜は家の中が熱くて眠れず、ほぼ毎日停電、台所がないためシャワー室で洗濯用のたらいを使って自炊していました。

生活環境は不便でつらいことも多くありましたが、熱くて眠れず外に出て仰向けになったら落ちてきそうな星空がスゴ過ぎて眼鏡を外せなかったこと、自分の心臓の鼓動が聞こえる

くらい音がなくシンとした砂漠でメッカにむかってお祈りする同僚を見ながら得



《寄生虫症啓発のため集落巡回草の根活動様子》

も言われぬ敬虔な気持ちになったこと、厳しい環境の中で信仰深く生も死もありのまま受け入れ、連絡方法もないのに遠く離れた人とテレパシーのようにお互いの状況を把握している遊牧民の人々の生活を垣間見、人間として生きるたくましさ、強さについて知ることができました。そして最貧国とよばれる国にながらも幸せそうに笑って生活するニジェールの人々と触

れ合い、「国際協力って本当に必要なんだろうか…」と活動最後までずっと考え続け疑問を抱えたまま帰国しました。

その後しばらく地元熊本で働いていましたが、「国際協力は本当に必要なのか？」という問いを他の開発途



《村の蚊帳管理委員会ミーティングの様子》

上国に行った人はどう考えるのか、それぞれの思いを聞きたくて現在に至ります。

国際協力推進員はJICAの地方の窓口として、国際協力に興味がある方への活動促進、教育機関(小中高等学校、大学、生涯教育機関)への出前講座、草の根協力事業の相談窓口など、JICAの事業に関することを主に火～土曜日、熊本市国際交流会館2F事務所を拠点に活動しています。

また、NGO・NPOの方々への専門相談窓口として毎月第1水曜日には県民交流会館パレオへ出向しております。

今後、世界で活躍する熊本人をたくさん送り出せるきっかけ作りや、熊本にいながら遠い海外の事を知れる、世界とつながる、ひろがるイベントを企画していきますのでいろいろなお話をしましょう。今後ともよろしくお祈りします！



《集落民族の女性らと》